

繰り返し振動疲労試験機

Repeated Vibration Fatigue Tester

型 式	B20	B50	B70
荷 重	200N	500N	700N
周 期	30Hz (1800cpm)		
最大振幅	±8mm		
カウンター	8桁		
自動停止装置	光電スイッチ方式(振幅制限用)		
初期異常振幅防止装置	フライホイールおよび駆動レバー		
参考規格	JIS K7118、JIS K7119		
電 源	単相 AC100V 50または60Hz 15A		
機体寸法	約W730×D650×H810mm		
質 量	約520Kg		

オプション

振幅連続自動記録装置 型式 C

静的及び動的な変位値を作動変圧器により検出してデータロガーにて記録。検出した値をPCへ出力させてグラフを作成します。

- ・測定範囲 : ±1、2、5、10mm/FS 4レンジ切換式
- ・動の変位測定 : 片振幅ピーク値記録
- ・データロガー : サンプルング周期 1,2,5,10,30,60sec
: サンプルング数 1~1048576
- ・データ処理装置 : OS Windows
: 電源 単相 AC100V 50/60Hz 2A
Excel上にデータを転送して【縦軸-変位幅】、【横軸-繰り回数(対数)】のグラフが作成できます。

恒温槽	【型式 TH】	【型式 TL】
温度範囲	室温+20℃~+150℃	-30℃~+150℃
温度精度	±2℃	±2℃
温度制御	時分割PID制御	時分割PID制御
ヒーター	カートリッジヒーター 3000W	カートリッジヒーター 3000W
冷凍機	-	AC200V 0.75kW 水冷式 * 供給水 流量10L/min 圧力0.4MPa以下
安全装置	過昇温防止装置付 本体の自動停止装置と恒温槽の電源は連動しています。	
恒温槽内側寸法	W360×D245×H255mm	W360×D245×H255mm
恒温槽外側寸法	W710×D840×H350mm	W1010×D950×H420mm
電 源	単相 AC100V 50/60Hz選択式 30A (本体とは別電源が必要です)	3相 AC200V 50または60Hz選択式 35A (恒温槽から本体の電源も取りますので、 本体の電源は不要になります)
機体寸法	本体 約W870×D835×H1070mm 制御BOX 約W400×D300×H270mm	約W1740×D935×H1260mm
質 量	約600kg	約860kg

恒温槽用オプション

追加安全機構 型式SC-T	ソレノイドロック方式。試験中の恒温槽扉、荷重調整部扉をロックします。 試験終了後も惰性で動作している間はロックします。
エア-乾燥ユニット 型式DCP-DA	恒温槽型式TL専用。結露防止用。 エア-源 : 0.3~0.7MPa, 入口空気流量93L/min

※恒温槽は、本体との着脱が可能です。



2024.5

株式会社 東洋精機 製作所

本社・東京支店 〒114-8557 東京都北区滝野川5-15-4 TEL 03-3916-8181 FAX 03-3916-8173
大 阪 支 店 〒564-0044 大阪府吹田市南金田2-14-35(中央社ビル) TEL 06-6386-2851 FAX 06-6330-7438
名 古 屋 支 店 〒461-0003 名古屋市東区筒井3-30-12(森ビル別館) TEL 052-933-0491 FAX 052-933-0591

URL <https://www.toyoseiki.co.jp/>

TOYOSEIKI

繰り返し振動疲労試験機

Repeated Vibration Fatigue Tester

用途

繰り返し振動疲労試験機は、さまざまな用途で使用される試験装置です。製品や部品が実際の使用状況で経験する振動や振動のストレスを模倣し、製品の寿命や耐久性を試験するのに役立ちます。これにより、不良品や製品を改善することができます。自動車産業、航空宇宙産業などの耐久性評価、建築材料や構造物の応力解析、電子機器や半導体デバイスの信頼性評価など性能を評価・確認するために幅広く使用されています。これらは用途の一部ですが、さまざまな業界での信頼性評価や製品開発のプロセスにおいて重要なツールとして利用されています。



本体(型式B70)+恒温槽(型式TL)



本体(型式B50)+恒温槽(型式TH)



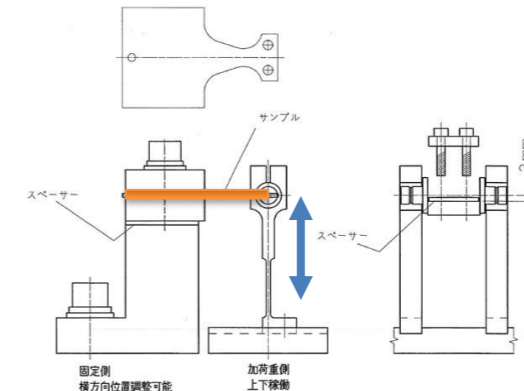
型式 B70

特長

主にプラスチック材料などの疲労試験に適しており、幅広い業界で使用されています。応力と振動を繰り返し加えることで、製品の寿命がどの程度持続するかを評価し、設計の改善に役立てることができます。高温や低温試験ができる恒温槽があり、製品や材料が実際の環境で受ける負荷を再現することが可能です。(オプション) 各種アタッチメント(チャック)が用意されており、様々な条件下での疲労試験が評価できます。(オプション) 繰り返し振動疲労試験機は、製品の信頼性や安全性を向上させ、製品の寿命を延ばし、不具合を特定するために不可欠なツールとして広く使用されています。

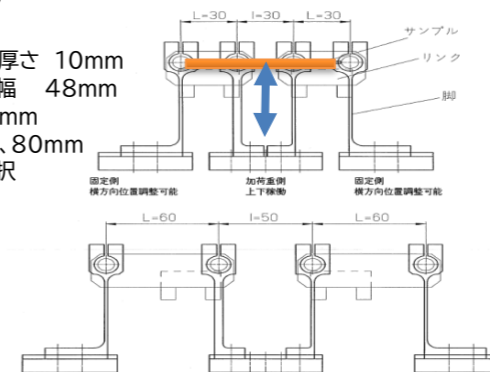
チャック

片持ちチャック(標準付属)
最大つかみ 厚さ 8mm



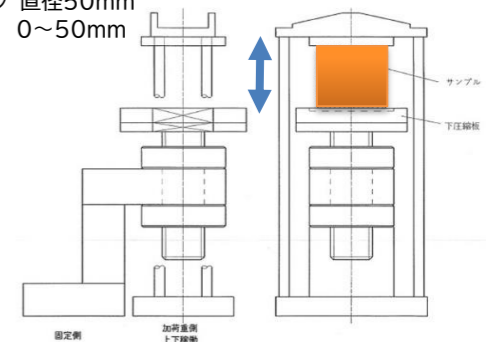
両端保持チャック

型式 W
最大チャックつかみ 厚さ 10mm
幅 48mm
内側スパン 30、50mm
外側スパン 30、60、80mm
1種類選択



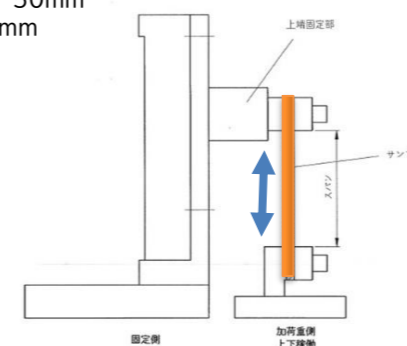
圧縮チャック

型式 CO
チャックアンビル 直径50mm
アンビル間隔 0~50mm



タテモミチャック

型式 TC
最大チャックつかみ 厚さ 20mm
幅 50mm
チャックの有効長さ 20mm



ヨコモミチャック

型式 YC
最大チャックつかみ 厚さ 16mm
幅 50mm
チャックの有効長さ 2~80mm

